

◎N(Ned.)とW(Miss Walton):成功例

最初W教師は、Nの要求を理解出来なかつた。W教師は、Nに制限を加えるとNが嫌がるだろうと思ひ、特別に学校の規則を、少し犯すのを許した。しかしNの行動に破壊的なものが増してきたので、W教師はNと話し合つて、彼の行動への不満、そのような行動を続けるならば友達が遊んでくれなくなるだろうと説明して、学校の規則を犯すのを許可したのが間違つていたのであり、Nの爲には他人と同様な制限を守るように話した。

Nの学科の勉強は平均以上になつたが、まだ社会的関係においてある問題を持つていた。重要視すべき事は、おびやかしのない教室の環境で進歩を続け、成長を導びき続けたことである。

NとW教師の関係は、最初から優れてゐた。W教師が認めてくれていることを知つてNは教師を信頼した。W教師の存在はNの自信を強め、自分の価値ある事を感じるのを可能にしNの可能性をより役立てる援助となつた。

まとめ

W教師は教室における人間相互関係の成功と類似した強い信頼・受容・子どもと教師間の尊敬を成し遂げた。その他成功した教師は暖かく受け入れる方法で、しっかりと一貫した制限を作ることが出来た。これらの教師は、否定的なものや激意の感情を、抑圧された感情の解放として表現する事を許した。

子ども達はこれらの感情を一日中とぎれとぎれに、微妙に、薄く表現するので、強い爆発的要求はあまりなかつた。子ども達は、自分の感情が正しいのであるという感じを持つのを助けられた。

人間相互関係というのは、表現の自由のある所・非難される恐れなしに自己を表現出来る所・感情が表現出来る所・創造的考えが重要視される所・自己の成長が重要な価値を持つ所での教師と子どもの関係である。

無理に強制されて良い事・社会的に優れた事をするよりも、人間的に精神的に満足な解放感を味わう事を通して成長は自然に起るのである。人間が自由にされた時個々人は創造的になる。教師は子どもを子ども自身が豊富な可能性を發展するのを助ける為に勇氣を持たねばならない。(下妻小友幼稚園 福西百合)

幼児の教育 第六十巻 第三号

三月号 © 定価 五十円

昭和三十六年二月二十五日印刷

昭和三十六年三月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
フレーベル館にお願いいたします。